

HP Service Health Reporter 9.10

Handbook of Reports



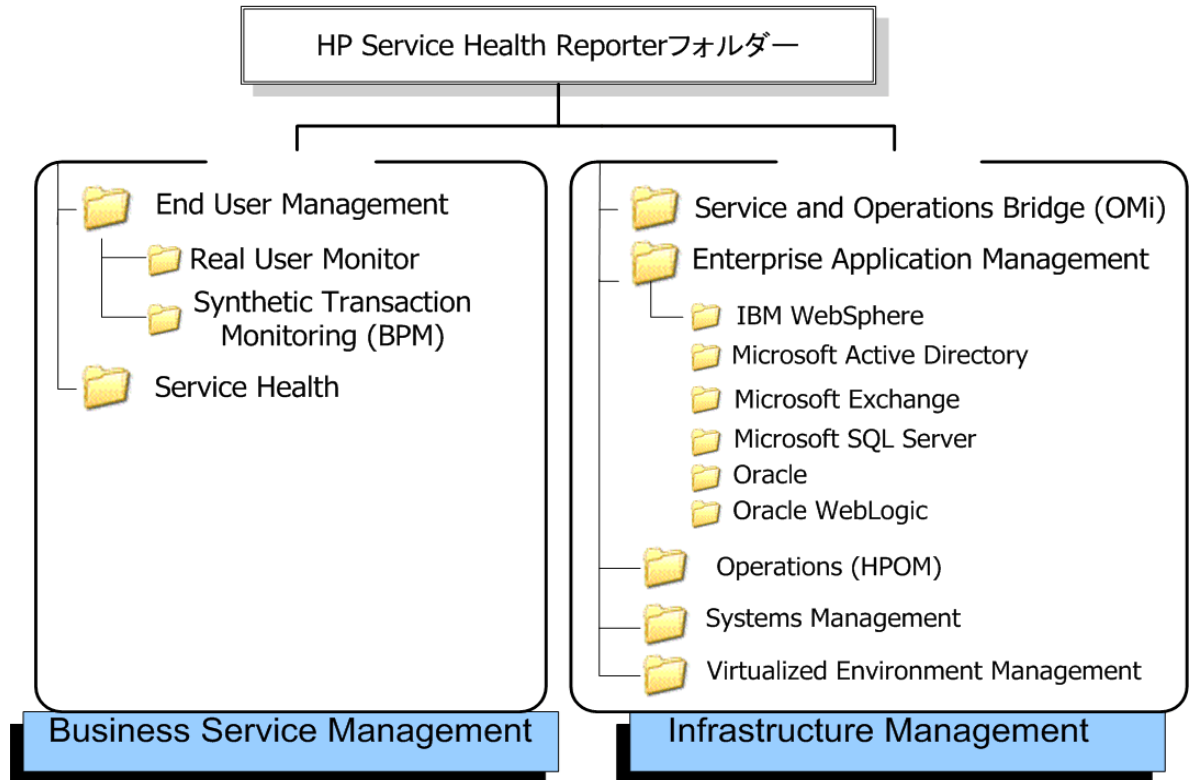
はじめに	2
Business Service Management	3
Real User Monitor (RUM)	3
Synthetic Transaction Monitoring (BPM)	5
Service Health	5
Infrastructure Management	6
Service and Operations Bridge (OMi)	6
Enterprise Application Management.....	6
IBM WebSphere	7
Microsoft Active Directory	9
Microsoft Exchange	10
Microsoft SQL Server	11
Oracle	12
Oracle WebLogic.....	14
Operations (HPOM).....	16
System Management.....	17
Virtualized Environment Management.....	20
ご意見をお寄せください	22

はじめに

本書は、HP SH Reporter で利用可能なすべてのレポートの概要を示し、大きく次の2つのカテゴリに分かれています。

- Business Service Management
- Infrastructure Management

以下の図は、この2つのカテゴリの下のフォルダーのリストを示しています。



Business Service Management

Business Service Management カテゴリには、リアルタイムおよびシミュレーションの両方のエンドユーザー監視に関するレポートが格納されます。

Real User Monitor (RUM)

RUM レポートは、プロファイルデータベースから収集した履歴データを使用し、クライアントマシンとサーバー間のエンドユーザーおよびシステムの両方が始動したネットワークトラフィックデータを提供します。このレポートはまた、エンドユーザーグループおよびサーバーセッションに関するデータ、エンドユーザーグループがアクセスするビジネスアプリケーションのパフォーマンス、およびある一定期間中に発生したエラーも表示します。

表 1 RUM レポート

レポートグループ	レポート名	詳細
<i>Executive Summary</i>	RUM Application Executive Summary	RUM から収集した履歴データに基づいて、ビジネスアプリケーションの可用性とパフォーマンスの要約ビューを示します。
	RUM Application Infrastructure Forecast	アプリケーションサマリーと、アプリケーションをホスティングするノードのインフラストラクチャの 30 日間にわたる使用率を表示します。このレポートはまた、次の 30 日、60 日、および 90 日間にわたるアプリケーションによるインフラストラクチャの使用率の予測も行います。
	RUM Application Infrastructure Summary	ビジネスアプリケーションが実行されるノードのリソース使用と、ビジネスアプリケーションの可用性と応答時間に関する統計およびグラフィック情報を示します。これは、ビジネスアプリケーションをホスティングする RUM モニター対象システムの System Management データを表示するドメイン間レポートです。
	RUM Application Infrastructure Usage	RUM から収集した履歴リアルデータに基づいて、それぞれ最短および最長の応答時間を生じた上位 5 つと下位 5 つのビジネスアプリケーションのリストを表示します。これは、ビジネスアプリケーションをホスティングするノードの Systems Management メトリックデータを表示するドメイン間レポートです。
	RUM Application View (Synthetic and Real)	BPM および RUM から収集した履歴データに基づいて、ビジネスアプリケーションの可用性とパフォーマンスを表示します。これは、BPM および RUM から収集したビジネスアプリケーションのファクトデータおよび System Management から収集したインフラストラクチャファクトデータを表示するドメイン間レポートです。
	RUM Application Sessions Summary	RUM から収集した履歴データに基づいて、最多および最少のセッションイベントを生じた上位 5 つと下位 5 つのビジネスアプリケーションのリストを表示します。
	RUM Application Transaction Summary	特定の期間中における特定のビジネスアプリケーションに関して、ビジネスランザクションのパフォーマンスおよび可用性の測定値を表示します。このレポートはまた、ノードリソースの使用率も測定します。これは、ビジネスアプリケーションをホスティングするノードの Systems Management メトリックデータを表示するドメイン間レポートです。
	RUM Network Usage	ある特定の期間中の、ビジネスアプリケーションをホスティングするノードの可用性、ノードで処理される要求数、ノード上のアプリケーションのトラフィックスループットを表示します。
	RUM Top 5 Nodes	特定の期間中にノードが処理したバイト数に基づいて、上位 5 つのノードのリストを表示します。

表 1 RUM レポート

レポートグループ	レポート名	詳細
Performance Analysis	RUM Application Performance	BPMおよびRUMから収集した履歴合成およびリアルデータに基づいて、上位 5 つと下位 5 つのビジネスアプリケーション、ビジネストランザクション、およびノードのリストを表示します。これは、BPM および RUM から収集したビジネスアプリケーションのメトリックデータおよび System Management から収集したインフラストラクチャメトリックデータを表示するドメイン間レポートです。
	RUM Application Performance Detail	特定の期間中の、選択されたビジネスアプリケーションの応答時間などのパフォーマンス、ビジネスアプリケーションにアクセスしたユーザー数、ノードのリソース使用率を表示します。これは、アプリケーションをホスティングするノードの System Management メトリックデータを表示するドメイン間レポートです。
	RUM End User Groups and Location Experience	BPMおよびRUMから収集した履歴合成およびリアルデータにそれぞれ基づいて、上位 5 つと下位 5 つのエンドユーザーグループおよび場所のリストを表示します。
	RUM Top 5 Actions	可用性に基づいた上位 5 つと下位 5 つのアクション、成功数に基づいた上位 5 つと下位 5 つのビジネスアプリケーション層、および CPU 使用率に基づいた上位 5 つと下位 5 つのノードを表示します。これは、ビジネスアプリケーションをホスティングするノードの System Management メトリックデータを表示するドメイン間レポートです。
	RUM Top 5 Applications and Nodes	応答時間、要求の成功数、要求された情報のバイト数に基づいた上位 5 つのビジネスアプリケーションと、CPU 使用率とメモリ使用率に基づいた上位 5 つのノードのリストを表示します。これは、ビジネスアプリケーションをホスティングするRUMモニター対象システムの System Management レポートのデータを表示するドメイン間レポートです。
	RUM Top 5 Applications, End User Groups and Nodes Performance	応答時間に基づいた上位 5 つのビジネスアプリケーション、要求の成功数およびイベント数に基づいた上位 5 つのエンドユーザーグループ、および CPU とメモリーの使用率に基づいた上位 5 つのノードのリストを表示します。これは、ビジネスアプリケーションをホスティングする RUM モニター対象ノードの System Management レポートのデータを表示するドメイン間レポートです。
	RUM Top 10 Broken Links	生成されたリンク切れイベント数が最大であった上位 10 個のビジネスアプリケーションを表示します。

Synthetic Transaction Monitoring (BPM)

BPM レポートは、BPM トランザクションのパフォーマンス、可用性、およびステータスに関する要約情報と詳細情報を示します。

表 2 BPM レポート

レポートグループ	レポート名	詳細
Adhoc	BPM Adhoc Search	過去 7 日間に収集されたメトリックに基づいて、さまざまなビジネスアプリケーションのさまざまなコンポーネントの可用性、応答時間、および総体的なパフォーマンスを表示します。
Executive Summary	BPM Application Summary	ビジネスアプリケーションのパフォーマンス、可用性、およびステータスと、ビジネスアプリケーションの実行場所であるノードのパフォーマンスの完全な概要を示します。
	BPM Error Summary	発生したすべてのエラーの統合ビューを示します。
	BPM Executive Summary	すべてのビジネスアプリケーション、ビジネスプロセスフロー、場所、およびエンドユーザーグループの応答時間 (ミリ秒単位) および可用性 (パーセント表示) を表示します。
	BPM Top 5 Instances	可用性のパーセントまたは応答時間に基づいた上位 5 つのビジネスアプリケーション、ビジネスアプリケーションのフロー、場所、およびエンドユーザーグループを表示します。
Performance	BPM Network Analysis	WebTrace によって収集されたデータに基づいたネットワーク分析を表示します。
	BPM Performance Summary	選択された期間中の、選択されたビジネスアプリケーション、ビジネスプロセスフロー、エンドユーザーグループ、および場所の平均応答時間および失敗数 (パーセント表示) を表示します。
	BPM Transaction Analysis	選択した期間中に実行されたビジネスプロセスフロー (特定のビジネスアプリケーション中) のパフォーマンスと可用性に関する統合情報および詳細情報を表示します。

Service Health

Service Health レポートは、ビジネスサービスの総体的な状況の概要と、各構成アイテムの主要プロセス指標の要約を示します。

表 3 Service Health レポート

レポートグループ	レポート名	詳細
NA	KPI Overview	前月の、選択した CI タイプに属する選択された構成アイテム (CI) の主要パフォーマンス指標 (KPI) のステータスを表示します。加えて、前日の KPI のステータスも表示します。
	Health Indicator Overview	前月の、選択された構成アイテムタイプの状況インジケータ (HI) のステータスを表示します。加えて、前日の HI のステータスも表示します。
Service Health Trend	Health Indicator Status over Time	選択した CI の HI ステータスを表示します。
	KPI Status Over Time	選択した CI の KPI ステータスを表示します。

Infrastructure Management

Infrastructure Management カテゴリには、ビジネスサービスの基礎となる IT インフラストラクチャに関する情報が収められます。

Service and Operations Bridge (OMi)

OMi レポートは、HPOM によって生成されたイベントに関する情報を示します。

表 4 OMi レポート

レポートグループ	レポート名	詳細
NA	OMi Event Summary	すべての CI の総括的なイベントサマリーおよびイベント持続期間サマリーを表示します。このレポートは、指定された日付の最後の 30 日間に収集されたデータを表示します。
	Event Distribution Executive Summary	アプリケーション、イベントタイプインジケータ (ETI)、および構成アイテム (CI) タイプ別のイベント分散のサマリーを表示します。このレポートは、指定された日付の最後の 30 日間に収集されたデータを表示します。
Detail Events	OMi Event Assignment by Group	各グループに割り当てられたイベントのサマリーを表示します。このレポートは、指定された日付の最後の 30 日間に収集されたデータを表示します。
	OMi Event Assignment by Users	各ユーザーに割り当てられたイベントのサマリーを表示します。このレポートは、指定された日付の最後の 30 日間に収集されたデータを表示します。
	OMi Event Summary by Application	選択したアプリケーションの総体的なイベントサマリーとイベント持続期間の詳細を表示します。このレポートは、指定された日付の最後の 30 日間に収集されたデータを表示します。
	OMi Event Summary by Category	選択したアプリケーションの総体的なイベントサマリーとイベント持続期間の詳細を表示します。このレポートは、アプリケーションに属するすべてのカテゴリに対して生成されます。このレポートは、指定された日付の最後の 30 日間に収集されたデータを表示します。
	OMi Event Summary by CI	選択された設定項目 (CI) に関して、発生したイベントに基づいた総体的なイベント数、イベントのカテゴリ化、イベント重要度カテゴリ化、およびイベントの継続期間を表示します。このレポートは、指定された日付の最後の 30 日間に収集されたデータを表示します。
	OMi Event Summary by ETI	イベントタイプインジケータ (ETI) に基づいて、総体的なイベント数、イベントのカテゴリ化、イベント重要度カテゴリ化、およびイベントの継続期間を表示します。このレポートは、指定された日付の最後の 30 日間に収集されたデータを表示します。
	OMi Top 5 Users and Groups by Events Assigned	過去 7 日間の、割り当てられたイベントに基づいた上位 5 つのユーザーおよびグループのリストを表示します。
イベントトレンド	OMi Event Distribution over Time	CI のイベントに関して、イベント数詳細および分散詳細を表示します。また、イベントの認識、解決、およびクローズに要した時間に基づいたイベントグラフも示します。

Enterprise Application Management

このグループには、各種の IT インフラストラクチャコンポーネントに関するレポートが入っています。

IBM WebSphere

IBM WebSphere レポートは、ビジネスサービスで利用可能な IBM WebSphere サーバーに関する可用性、使用率、およびパフォーマンスの情報を表示します。

表 5 IBM WebSphere レポート

レポートグループ	レポート名	詳細
Executive Summary	WebSphere EJB Performance Overview	JavaBeans (EJB) メソッドコール率、EJB メソッド応答時間、プールからの EJB の取り出しのための呼び出しが失敗した回数のパーセンテージ、およびプールのサイズの平均値と最大値を表示します。
	WebSphere EJB Quick View	EJB がデータベースからロードされた分あたりの回数と、EJB プール内の Bean オブジェクトの数を表示します。
	WebSphere EJB Top 10	EJB プール内にあるアクティブな Bean のパーセンテージに基づいて、指定されたサーバー上にある上位 10 個の EJB プールを表示します。
	WebSphere Executive Summary	WebSphere サーバーとその実行場所であるノードに関するシステム情報を示すドメイン間レポート。そこには、ノードのインベントリ情報、キャパシティ使用率、およびノードのサービスのグレード (GoS) サマリーが表示されます。また、WebSphere ノードからの着信メッセージの重要度も示されます。加えて、次の 30 日間のノードの予測情報も表示されます。
	WebSphere JDBC Quick View	アプリケーションによって割り振られて戻ってきた秒あたりの JDBC 接続の平均数、接続プール内の平均接続数、クライアントが接続までに待機した平均時間、プールからの接続を待機していたクライアントがタイムアウトになった平均回数に基づいて、Java データベース接続 (JDBC) プールの上位 5 つを表示します。
	WebSphere JDBC Top 10	各プールから使用される接続のパーセンテージに基づいて、上位 10 個の JDBC プールを表示します。
	WebSphere Servlet Performance Overview	サーブレットに対する秒あたりの要求数と、それらの要求に対するミリ秒単位の応答時間を表示します。
	WebSphere Servlet Quick View	サーブレットのパフォーマンスとそこで発生したエラー数の概要を示します。
	WebSphere Thread Pool Performance Overview	収集間隔においてプール内で同時にアクティブになっているスレッドの数と、収集間隔におけるプール内のスレッドの総数を表示します。
	WebSphere Thread Pool Quick View	プール内のスレッドが設定済みの最大サイズに達した回数のパーセンテージと、分あたりの作成されたスレッド数を表示します。
	WebSphere Top 5 summary	Java 仮想マシン (JVM) メモリーの使用率パーセンテージ、スレッドプールの使用率パーセンテージ、EJB 使用率パーセンテージ、および JDBC 使用率パーセンテージに基づいた上位 5 つのシステムのリストを表示します。
	WebSphere Application Server Dashboard	さまざまな WebSphere レポートから得たデータを統合し、統一した方法でそのデータを示します。このデータを使用して、ノードとサーバーの両方のさまざまなメトリック詳細がダッシュボード上に表示されます。

表 5 IBM WebSphere レポート

レポートグループ	レポート名	詳細
Performance	WebSphere EJB Performance Details	分あたりの実行された EJB メソッドコールの数、その呼び出しに対して EJB プールが応答するのに要した時間 (ミリ秒単位)、プールから EJB を取り出すための呼び出しが失敗した回数のパーセンテージ、および EJB プールの平均サイズを表示します。
	WebSphere EJB Utilization Details	選択された接続プール内のアクティブな Bean のパーセンテージを表示します。
	WebSphere JVM Utilization Details	JVM 内で使用されているヒープ領域のパーセンテージを表示します。
	WebSphere JDBC Pool Size and Timeout Details	選択された接続プール内にある接続の数と、接続を待機しているクライアントがタイムアウトになった回数を表示します。
	WebSphere JDBC Pool Throughput and Wait Time Details	秒あたりの正常に割り振られた接続の数と、選択した JDBC 接続プールからの接続をクライアントが待機しななければならなかった時間の長さを表示します。
	WebSphere JDBC Utilization Details	選択された使用中の接続プールからの接続のパーセンテージを表示します。
	WebSphere JDBC Wait Count	接続プールからの接続を待機しているスレッドの数を表示します。
	WebSphere JVM Utilization Details	JVM 内で使用されているヒープ領域のパーセンテージを表示します。
	WebSphere Server Availability Details	選択されたノード上にあるサーバーに関して、選択されたサーバーが稼働中であった時間の長さ、停止していた時間の長さ、および不明の時間を表示します。
	WebSphere Servlet Performance Details	サーブレットに対する秒あたりの要求数と、それらの要求に応答するのに要した時間を表示します。
	WebSphere Thread Pool Performance Details	スレッドプール内のスレッドの平均数と最大数、および選択されたスレッドプール内で同時にアクティブであったスレッドの平均数と最大数を表示します。
	WebSphere Transaction Duration Details	グローバルトランザクションおよびローカルトランザクションに要した時間と、グローバルトランザクションおよびローカルトランザクションをコミットするのに要した時間を表示します。
WebSphere Transaction Performance Details	実行されているトランザクション (グローバルおよびローカルの両方) に関する詳細を表示します。	

Microsoft Active Directory

Microsoft Active Directory レポートは、すべてのドメインコントローラー (DC)、グローバルカタログ (GC) の複製時間および複製ステータス、各ロールマスターの FSMO (Flexible Single Master Operation) のロール移譲ステータス、およびすべての DC での CPU、メモリー、ディレクトリ情報ツリー (DIT) ディスク、およびログファイルディスク使用率詳細を通して、データの一貫性に関する情報を示します。

表 6 Microsoft Active Directory レポート

レポートグループ	レポート名	詳細
<i>Adhoc</i>	AD Adhoc Comparison Report	選択された DC のリソース使用率を表示します。
<i>Executive Summary</i>	AD Availability	選択された DC のドメインの可用性詳細を表示します。
	FSMO Role Holder	ある特定の期間中のさまざまな DC 間での FSMO ロール移動の成功または失敗に関する情報を表示します。
<i>Performance</i>	DC - GC Replication Delay Report	DC サーバーと GC サーバーの間の複製における遅延時間の要約を表示します。
	DC Capacity	Active Directory サービス上で稼働している選択された DC の CPU、メモリー、およびログファイルメモリーのキャパシティを表示します。
	DC Health	DC 上の GC サーバーが利用不可になった場合の考えうる影響を探索できます。

Microsoft Exchange

Microsoft Exchange レポートは、エッジトランスポートサーバー、ハブトランスポートサーバー、メールボックス、パブリックフォルダー、エッジトランスポートサーバーとハブトランスポートサーバーが稼働する Active Directory サイト、および Exchange サイトサーバーに関して、パフォーマンスおよびサイズの詳細を示します。

表 7 Microsoft Exchange レポート

レポートグループ	レポート名	詳細
<i>Executive Summary</i>	Exchange MailBox Summary	特定のサーバー上にあるすべてのメールボックスのサマリーを表示します。
	Exchange MailServer Comparison	指定されたサーバーのメールボックスサイズのグラフィック比較を表示します。サーバーにあるパブリックフォルダーのサイズも比較します。
	Exchange MailServer Summary	指定されたサーバー上にあるすべてのメールボックスおよびパブリックフォルダーに関して、データベースサマリー、ユーザーサマリー、およびメッセージ数サマリーを表示します。
	Exchange Site Executive Summary	ユーザー数およびメッセージ数、クライアントアクセス詳細、配信通知、および SMTP 使用に関する詳細を表示します。
	Exchange Source and Destination Mails Comparison	内部へ送信されたメッセージ数と外部へ送信されたメッセージ数の比較と、内部から受信したメッセージ数と外部から受信したメッセージ数の比較を表示します。
	Exchange Top 10 Mail Senders and Recipients	指定されたサーバー上での上位 10 人のメッセージ送信者と受信者のリストを表示します。
	Exchange Top 10 MailBox	指定されたサーバーに所属する上位 10 個のメールボックスのリストを表示します。
	Exchange Top 10 PubFolder	指定されたサーバーに所属する上位 10 個のパブリックフォルダーのリストを表示します。
	Exchange Server DashBoard	サイトメトリックの統合ビューを示します。ダッシュボードを使用して、サイトのパフォーマンスに関する考察を行うことができます。このデータを使用して、サイトのパフォーマンスを向上させる新しいソリューションを獲得できます。
<i>Performance</i>	Exchange EdgeTransport Queue Details	Exchange エッジトランスポートサーバーの各キュー内のメッセージ数を表示します。
	Exchange EdgeTransport SMTP Details	SMTP バイト数および送受信されたメッセージの数、および着信 / 発信の SMTP 接続の総数を表示します。
	Exchange HubTransport SMTP and DSN Details	SMTP サーバーの接続詳細と、サーバーから送信者に送信されて失敗および遅延した配信状態通知 (DSN) の数を表示します。
	Exchange MailBox Details	メールボックスサイズ詳細と、送信されたメッセージおよび配信されたメッセージの詳細を表示します。
	Exchange MailBox Usage	メールボックスの使用率とパブリックフォルダーの使用率の詳細を表示します。
	Exchange PubFolder Details	パブリックフォルダーサイズ詳細と、送信および配信されたメッセージの詳細を表示します。

Microsoft SQL Server

Microsoft SQL Server レポートは、各自の環境内で利用可能な SQL Server データベースと、このデータベースサーバー上で稼働するインスタンスのパフォーマンス、状況、およびリソース要件の情報を表示します。

表 8 Microsoft SQL Server レポート

レポートグループ	レポート名	詳細
<i>Executive Summary</i>	MSSQL Availability Summary	すべてのノードおよび SQL Server インスタンスの状況およびパフォーマンスレベルを表示します。
	MSSQL Table Space Usage Top 10	選択されたノード、SQL Server インスタンス、および SQL Server データベース内の利用可能領域が最小である表に関する比較情報を表示します。
	MSSQL Database and Virtual Device Space Usage Top 10	選択されたノードの利用可能な空き領域に基づいて、上位 10 個の SQL Server データベースおよび仮想デバイスをリスト表示します。
	MSSQL Performance Summary	すべてのノードおよび SQL Server インスタンスの主要パフォーマンスメトリックに関する情報を表示します。
	DB MSSQL Dashboard	複数の SQL Server レポートから得たデータを統合し、統一した方法でそのデータを示します。SQL Server コンテンツパックは、収集したデータを集約し、過去 7 日間のレポートを生成します。
<i>Performance</i>	MSSQL Database Input and Output Statistics	選択されたノードおよび SQL Server インスタンスのデータベースインスタンスの未解決の読み取りおよび書き込み速度に関する情報を表示します。
	MSSQL Database Locks Summary	選択されたノードおよび SQL Server インスタンスの SQL Server データベースによるデータベースロック使用のサマリーを表示します。
	MSSQL Database Performance Summary	選択されたノードおよび SQL Server インスタンスの主要データベースパフォーマンスメトリックに関する情報を表示します。
	MSSQL Database Space Usage Details	選択されたノードおよび SQL Server インスタンスの SQL Server データベースの領域使用量を表示します。
	MSSQL Database Table Space Usage Details	選択されたノード、SQL Server インスタンス、およびデータベース上の表領域によって使用される領域の集約量を表示します。
	MSSQL Detail Server Transaction Summary	選択されたノードおよび SQL Server インスタンスのトランザクション詳細のサマリーを表示します。
	MSSQL Instance Availability Detail	選択されたノード上で実行されるデータベースインスタンスの可用性に関する情報を表示します。
	MSSQL Users Connection Summary	選択されたノードおよび SQL Server インスタンスのデータベースインスタンスへのユーザー接続に関する情報を表示します。
MSSQL Virtual Device Space Usage Details	選択されたノードおよび SQL Server インスタンス上で稼働する仮想デバイスによって使用される領域に関する情報を表示します。	

Oracle

Oracle データベースレポートは、ご使用の IT 環境で利用可能な Oracle データベースサーバーおよびこのデータベースサーバー上で実行されるインスタンスに関するパフォーマンス、状況、およびリソースの要件情報を表示します。

表 9 Oracle レポート

レポートグループ	レポート名	詳細
Executive Summary	Oracle Availability Summary	選択されたノードの状況およびパフォーマンスレベルを表示します。このレポートは、選択されたノード上で利用可能な各 Oracle インスタンスの稼働時間、ダウンタイム、および不明時間を表示します。これは、System Management レポート上で利用可能な選択されたノードの CPU およびメモリー使用情報を表示するドメイン間レポートです。
	Oracle Instance Bottom 10	下位 10 個の Oracle インスタンスを、それぞれの稼働時間とそれぞれにおいて利用可能な空き領域に基づいて表示します。
	Oracle Instances Load and Efficiency Top 5	最も使用量の高い 5 つの Oracle インスタンスと、パフォーマンス上の問題が大きい 5 つの Oracle インスタンスを表示します。
	Oracle Performance Summary	選択されたノード上で実行されるインスタンス用の Oracle 共有プールおよびキャッシュメモリーの状況およびパフォーマンスを表示します。これは、Systems Management レポート上で利用可能な選択されたノードの CPU およびメモリー使用情報を表示するドメイン間レポートです。
	Oracle TableSpace Top and Bottom 10	利用可能な空き領域および表領域の入力または出力に基づいて、上位 10 個および下位 10 個の Oracle 表領域を表示します。
	DB Oracle Dashboard	さまざまな Oracle レポートから得たデータを統合し、統一した方法でそのデータを示します。

表 9 Oracle レポート

レポートグループ	レポート名	詳細
Performance	Oracle Archive Device Detail	選択されたノードおよびインスタンス上で稼働する選択されたインスタンスのアーカイブデバイス使用量を表示します。
	Oracle Disk And Memory Sort Detail	選択された Oracle ノード上で稼働する選択されたインスタンスのディスクソートレートおよびメモリーソートレートを表示します。
	Oracle Enqueue Detail	特定の Oracle ノード上で実行される選択された Oracle インスタンスのエンキューステータスを表示します。
	Oracle Instance Availability Detail	選択されたノード上で実行されている指定されたインスタンスの指定の期間に対する可用性を表示します。
	Oracle Instance Space Utilization Detail	選択された Oracle ノード上で実行されるすべての Oracle インスタンスによって使用される領域の合計量を表示します。
	Oracle Lock Detail	特定の Oracle ノード上で実行される選択された Oracle インスタンスのロックステータスを表示します。
	Oracle MTS Detail	特定のノード上で実行される選択されたインスタンスのマルチスレッドサーバー (MTS) の詳細を表示します。
	Oracle Redo Detail	特定の Oracle ノード上で稼働する選択された Oracle インスタンスが実行するさまざまな REDO アクティビティのステータス情報を表示します。
	Oracle Segment Detail	特定の Oracle ノード上で実行される選択されたインスタンスで利用可能なエクステントおよびセグメントのパフォーマンスを表示します。
	Oracle Shared Pool and Cache Performance Detail	特定の Oracle ノード上で実行される選択されたインスタンス用の Oracle 共有プールおよびキャッシュの状況およびパフォーマンスを表示します。
	Oracle SQL Performance Detail	選択された Oracle ノード上で実行される特定のインスタンスの SQL パフォーマンスを表示します。このレポートを使用して、各インスタンスの SQL パフォーマンスを分析し、異なるトランザクションロードごとに SQL 効率を保存することができます。
	Oracle TableSpace Detail	指定されたノード上で実行される選択されたインスタンスの表領域の平均使用量を表示します。
	Oracle TableSpace Space Utilization Detail	特定の Oracle ノード上のインスタンス上で実行される選択された表領域の集約領域量を表示します。
	Oracle User and Session Detail	選択された Oracle ノード上で指定された期間実行される特定の Oracle インスタンスのログオン数とセッション数を表示します。
Oracle User Calls Detail	選択された Oracle ノード上で実行される選択されたインスタンスのユーザーコールのパフォーマンスを表示します。	

Oracle WebLogic

Oracle WebLogic レポートは、ビジネスサービスの基礎となる Oracle WebLogic Server のプロセス、状況、および可用性に関する情報を示します。

表 10 Oracle WebLogic レポート

レポートグループ	レポート名	詳細
Executive Summary	WebLogic EJB Top 10 Pool	キャッシュ内の使用済み EJB のパーセンテージを表示します。
	WebLogic Execute Queue Performance Summary	選択されたノード上にあるサーバーの実行キューの平均および最大のスループット率、使用量パーセンテージ、および待機数を表示します。
	WebLogic Executive Summary	WebLogic サーバーとその実行場所であるノードに関するシステム情報を示すドメイン間レポート。そこには、ノードのインベントリ情報、キャパシティ使用率、およびノードの GoS サマリーが示されます。また、WebLogic ノードからの着信メッセージの重要度も示されます。加えて、次の 30 日間のノードの予測情報も表示されます。
	WebLogic JDBC Connection Pool Summary	平均遅延時間、リーク率、平均使用パーセンテージ、および平均スループット率に基づいて、上位 5 つと下位 5 つの JDBC 接続プールを表示します。
	WebLogic JMS Performance Summary	利用可能な JMS サーバーを介して渡された秒単位のメッセージとバイトの数と、メッセージおよびバイトによって使用された各 JMS サーバーのパーセンテージを表示します。
	WebLogic Servlet Performance Summary	サーブレットに対する秒あたりの要求数と、サーブレットのミリ秒単位の実行時間を表示します。
	WebLogic Top 5 Summary	Java 仮想マシン (JVM) メモリーの使用率パーセンテージ、実行キュー待機数、Java データベース接続 (JDBC) 待機数、および Enterprise JavaBean (EJB) 待機率に基づいた上位 5 つのシステムのリストを表示します。
	WebLogic Application Server Dashboard	さまざまな WebLogic レポートから得たデータを統合し、統一した方法でそのデータを示します。このデータを使用して、ノードとサーバーの両方のさまざまなメトリック詳細がダッシュボード上に表示されます。

表 10 Oracle WebLogic レポート

レポートグループ	レポート名	詳細
Performance	WebLogic EJB Availability Details	利用可能な EJB インスタンスが空きプールからなくなったあたりの回数と、EJB を待機していたクライアントがタイムアウトになった回数を表示します。
	WebLogic EJB Cache Hit	キャッシュ内の使用済み EJB のパーセンテージを表示します。このレポートは、キャッシュヒットのパーセンテージの平均値と最大値を表示します。
	WebLogic EJB Transaction Performance	実行されて成功した秒あたりの EJB トランザクション数と、ロールバックされた秒あたりの EJB トランザクション数を表示します。
	WebLogic Execute Queue Performance Details	実行キューによって処理された要求の秒あたりの平均数と最大数、使用率パーセンテージ、および処理待ちになっているクライアント要求の数を表示します。
	WebLogic JDBC Connection Pool Details	接続プールによって処理された秒あたりのクライアント数、接続プールからの JDBC 接続をクライアントが待機しなければならない時間の長さ、使用された接続プール内の接続量、および接続プールのリーク率を表示します。
	WebLogic JDBC Wait Count Details	接続プールからの接続を待機しているクライアントの数を表示します。
	WebLogic JMS Performance Details	JMS サーバーを介して渡された秒単位のメッセージ数およびバイト数と、これらのメッセージおよびバイトによって占有された JMS サーバーのパーセンテージを表示します。
	WebLogic JVM Utilization	選択されたノードによって使用されたヒープ領域を表示します。
	WebLogic Server Availability Details	選択されたノード上にあるサーバーに関して、選択されたサーバーが稼働中であった時間の長さ、停止していた時間の長さ、および不明の時間を表示します。
	WebLogic Servlet Performance Details	サーブレットに対する秒あたりの要求数と、サーブレットのミリ秒単位の平均実行時間を表示します。
WebLogic Transaction Performance Details	秒あたりの処理されたトランザクションの数と、各トランザクションに要した平均コミット時間を表示します。	
WebLogic Transaction Rollback Error Details	リソースエラー、アプリケーションエラー、タイムアウトエラー、およびシステムエラーが原因でロールバックされたアプリケーションのパーセンテージを表示します。	

Operations (HPOM)

HPOM レポートは、特定の管理サーバーの管理コンソールに送信されたメッセージに関する詳細情報を示します。これは、重要度とソリューション時間に基づいてメッセージトレンドを分析するのに役立ちます。これにより、ビジネスサービスのパフォーマンスが影響を受ける前に、根底にあるボトルネックに対する事前対策を講じて解決することができます。

表 11 HP Operations Manager (OM) レポート

レポートグループ	レポート名	詳細
NA	HPOM Message Details	設定済みの各 HP Operations Manager (HPOM) 管理サーバーのコンソールへ送信されるメッセージに関する詳細を表示します。
	HPOM Message Trend and Responsiveness	各 HPOM 管理サーバーのコンソールに送信されるメッセージの合計数と、その受信確認に要した時間を表示します。要する時間が一貫して長すぎる場合、その原因を調べて問題を解決し、顧客に影響が及ばないようにすることができます。
	HPOM Operator Details	設定済みのすべての HPOM 管理サーバーを対象としてコンソールに送信されたメッセージに関するオペレーター関連の詳細を表示します。
	HPOM Service log	選択されたサービスが異なる状態(または重要度)にあった時間の長さを表示します。
	HPOM Top 10 Active Message	構成済みのすべての管理サーバーのうちで最大数のアクティブメッセージをもつアプリケーション、サービス、ノードおよびノードグループのリストを表示します。アクティブメッセージの数が増えるということは、アプリケーション、サービス、ノード、またはノードグループに問題が起きていて、注意が必要であることを意味します。

System Management

System Management レポートは、IT 環境内のリソースの問題が深刻化する前に、問題を予見するために役立ちます。このレポートは、主要システムリソースのパフォーマンスと可用性に関する履歴情報を表示します。さらに詳細なエグゼクティブレポートから詳細レポートにナビゲートして、長期的な問題の根本原因を分析できます。

表 12 System Management レポート

レポートグループ	レポート名	詳細
Exceptions	SM Exception Detail	選択されたノード上で、指定の期間中に CPU 使用、実行キュー、メモリー使用、スワップ使用、およびメモリーページアウトの値で見つかった例外を表示します。
Execution Summary: Agent_OM	SM System Total Usage	IT 環境内の選択された 1 つ以上のノードの主要システムリソースの使用量を表示します。
Execution Summary	SM Business Service Executive Summary	関連ノードに対するサービスグレードが最高の 5 つのビジネスサービスと、ノードを使用できない期間が最長の 5 つのビジネスサービスを表示します。
	SM Exception Hot Spots	ビジネスサービスおよびビジネスビューまたはノードグループ内のノードを一覧表示し、事前定義のしきい値を超えているノードにマークを付けます。
	SM Heat Chart	CPU 使用率、メモリー使用率、物理ディスク入出力率、およびネットワーク入出力率に対して定義したしきい値を超えたノードを特定できます。
	SM System Availability	IT 環境内の選択した 1 つ以上のノードの可用性詳細を表示することができます。
	SM Executive Summary	現行および予測のキャパシティとシステムリソースの使用率データのサマリーを、可用性、サービスのグレード、およびノード内の例外とともに表示します。
	SM System Grade of Service	すべてがまとまってシステム GoS を構成する個々のメトリックの値を表示します。
	SM System Inventory	ビジネスサービスおよびビジネスビューまたはノードグループ内のノードの主要リソースの総体的な情報と値を表示します。
	SM System Quick View	選択されたノードの主要システムリソースの使用履歴を表示します。
	SM System Resource Executive Forecast	CPU、メモリー、およびファイルシステムの使用率の事前定義しきい値を今後 30 日以内に越えると予測されているすべてのノードのリストを表示します。各ノードの詳細レポートを起動し、正確な問題を識別して必要な措置をとり、しきい値使用率キャパシティを超過しないようにすることができます。
	SM System Executive Summary	特定の期間中の使用率またはパフォーマンスに関する上位 5 つと下位 5 つのノード、ベンダー、およびオペレーティングシステムを識別できます。
	SM Xcelsius Report	選択されたビジネスサービスのアプリケーション層および物理層の統合ビューを表示します。このレポートに表示されるデータは、過去 7 日間のものであります。

表 12 System Management レポート

レポートグループ	レポート名	詳細
Forecast	SM System Resource Forecast	今後 90 日以内に、CPU、メモリー、およびファイルシステムの使用率の 100% しきい値を越えると予測されているシステムを表示します。
	SM System Resource Optimization	今後 90 日間で主要システムリソースの使用率が 90% を越えるか、または 30% 未満になると予測されているノードを表示します。
Performance: Agent_OM	SM Application Performance Detail	選択された 1 つ以上のノード上で稼働するアプリケーションの CPU 使用率、仮想メモリー使用率、およびプロセス数の履歴を表示します。
	SM Application Performance Top Ten Report By CPU Utilization	ビジネスサービスおよびビジネスビューまたはノードグループ内で、特定の期間中の CPU 使用率が最も高い 10 個のアプリケーションと、CPU 使用率が最も低い 10 個のアプリケーションを表示します。
	SM CPU Detail	選択された 1 つ以上のノードの特定の期間中の、CPU ごとのシステムモードおよびユーザーモードでの CPU 使用率情報と、CPU ごとのコンテキスト切り替え率および中断率の履歴を表示します。
	SM File System Detail	選択された 1 つ以上のノードの特定の期間中の、ファイルシステムあたりの平均、最大、および 95 パーセントイルのファイルシステム使用率を表示します。
	SM Net Interface Detail	選択された 1 つ以上のノード内のすべてのネットワークインタフェースの着信または発信パケット率およびエラー率を表示します。ここでは、選択した 1 つ以上のノードおよびインタフェース上の最大値に対する衝突率を表示することもできます。
	SM Physical Disk Detail	選択された 1 つ以上のノードにおける物理ディスクの読み込み / 書き込み率および読み込み / 書き込みバイト率のトレンドを表示します。また、選択された 1 つ以上のノードでの物理ディスクの使用および要求キューのトレンドも表示します。
	SM Systems Top Ten Report By Completed Transactions	HP Performance Agent に定義されているトランザクションを完了した数が、特定の期間において最大および最小であった 10 個のノードを表示します。
	SM Systems Top Ten Report By Network Volumes	ビジネスサービスまたはビジネスビューにおいてネットワークボリュームが、特定の期間中に最大および最小であった 10 個のノードを表示します。
	SM Top Ten CPU Bottleneck	IT 環境内で CPU 使用率が非常に高い 10 個のノードと、CPU 使用率が非常に低い 10 個のノードを表示します。
	SM Transaction Detail	選択されたノード上で実行される各トランザクションのパフォーマンスにおける詳細なトレンドを表示します。

表 12 System Management レポート

レポートグループ	レポート名	詳細
Performance	SM Memory Detail	IT 環境内の選択された 1 つ以上のノードの主要メモリーメトリックにおけるトレンドを表示します。
	SM System Comparison	IT 環境内の選択されたノードの概要を示し、その主要システムリソースメトリックを比較できるようにします。
	SM System Usage Detail	IT 環境内の選択された 1 つ以上のノードの主要システムリソースの使用量の詳細を表示します。
	SM Systems Top Ten By CPU Utilization	ビジネスサービスおよびビジネスビュー内で、特定の期間中の CPU 使用率が最も高い 10 個のノードと、CPU 使用率が最も低い 10 個のノードを表示します。
	SM Systems Top Ten Report By File System Utilization	ビジネスサービスおよびビジネスビュー内で、特定の期間中のファイルシステムの使用量が最も高い 10 個のノードと、ファイルシステムの使用量が最も低い 10 個のノードを表示します。
	SM Systems Top and Bottom Ten Report By Memory Utilization	ビジネスサービスおよびビジネスビューまたはノードグループ内で、特定の期間中のメモリー使用率が最も高い 10 個のノードと、メモリー使用率が最も低い 10 個のノードを表示します。
	SM Top Ten Memory Bottleneck	ビジネスサービスおよびビジネスビューまたはノードグループ内で、メモリーボトルネックの数が最も多いノードと最も少ないノードを 10 個表示します。
	SM Systems Top and Bottom Ten Report By Availability	ビジネスサービスまたはビューにおいてほとんどの期間利用不可であった 10 個のノード (下位 10) と、ほとんどの期間利用可能であった 10 個のノード (上位 10) を表示します。

Virtualized Environment Management

Virtualized Environment Management レポートは、IT 環境にインストールされている仮想マシンに関するパフォーマンスデータを表示します。

表 13 Virtualized Environment Management レポート

レポートグループ	レポート名	詳細
<i>Executive Summary</i>	SM Virtualization Logical System Entitlement Configuration	選択された物理ノード上で稼働するゲストと、その個々のエンタイトルメント構成を表示します。
	SM Virtualization Logical System Executive Summary	選択された測定値の過去 30 日間の平均値に基づいて、上位 5 つと下位 5 つの論理システムを表示します。
	SM Virtualization Physical System Summary	物理ノードの主要測定値と、そこで実行される論理システムの数を表示します。
<i>Performance</i>	SM Virtualization Logical System Details	選択された論理システムの主要測定値を表示します。
	SM Virtualization Top and Bottom 10 Nodes	選択された測定値に基づいて、上位 10 個と下位 10 個のノードを表示します。
	SM Virtualization Logical System Performance Comparison Per Node	選択されたノード上で特定の期間実行されているすべての利用可能な論理システムインスタンスを一覧表示します。このレポートでは、選択されたノードの特定の期間中の CPU 使用率とメモリー使用率を比較できます。選択されたノード上にある論理システムどうしの間の CPU 使用率とメモリー使用率を比較することもできます。
	SM Virtualization Logical System Top and Bottom 10	選択された測定値に基づいて、上位 10 個と下位 10 個の論理システムを表示します。

表 13 Virtualized Environment Management レポート

レポートグループ	レポート名	詳細
VMWare ESXi	SM Virtualization Cluster Detail Inventory	選択されたクラスター内の ESX ノード、リソースプール、および論理システムのインベントリ詳細を表示します。
	SM Virtualization ESX Server Detail Inventory	選択されたノードの論理システムおよびリソースプールのインベントリ詳細を表示します。
	SM Virtualization Logical System Availability	すべての論理システムの可用性サマリーを表示します。
	SM Virtualization Logical System Availability Details	選択された論理システム上で実行される論理システムの可用性詳細を表示します。
	SM Virtualization Logical System CPU Bottleneck Details	選択された論理システムの CPU ボトルネック詳細を表示します。
	SM Virtualization Logical System Memory Bottleneck Details	選択された論理システムのエンタイトルメモリーおよび物理メモリーの平均使用率を表示します。
	SM Virtualization Logical System Top 10 Memory Bottleneck	選択されたノードの上位 10 個の論理システムを、物理メモリーの平均使用率の順に表示します。
	SM Virtualization Top and Bottom 10 Logical System	選択された測定値に基づいて、上位 10 個と下位 10 個の ESXi 論理システムを表示します。
	SM Virtualization Logical System Top and Bottom 10 CPU - Memory Bottleneck	選択された物理ノードの上位 10 個の論理システムを、利用可能 CPU 使用率と物理メモリー使用率の順に表示します。
	SM Virtualization Node - Logical System Utilization Comparison	物理ノードと論理システムのリソース使用率の比較を示します。
	SM Virtualization Resource Pool - Logical System Utilization Comparison	リソースプールと論理システムのリソース使用率の比較を示します。
	SM Virtualization Top 10 ESX Nodes	選択された測定値に基づいて、上位 10 個と下位 10 個のノードを表示します。
SM Virtualization VMware Inventory	VMware クラスターおよび非クラスター ESX ノードのインベントリ詳細を表示します。	

ご意見をお寄せください

電子メールクライアントを設定済みのシステムの場合は、次をクリックしてください。

電子メールの送信

電子メールクライアントを利用できない場合、Web メールクライアントで以下の事項を新規メッセージにコピーし、そのメッセージを **docfeedback@hp.com** にお送りください。

Product name and version: HP Service Health Reporter 9.10

Document title: Handbook of Reports

Feedback:

© Copyright 2010-2011 Hewlett-Packard Development Company, L.P. 本書の内容は、予告なしに変更されることがあります。HP の製品とサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書に記載されたいかなる内容も、保証の追加を構成すると解釈されるものではありません。HP は、本書の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対していかなる責任も負いません。

本製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) (英語サイト) によって開発されたソフトウェアが含まれています。

本製品には、Andy Clark によって開発されたソフトウェアが含まれています。

本製品には、asm ソフトウェア (Copyright (c) 2000-2005 INRIA, France Telecom. All rights reserved) が含まれています。

本製品には、jquery.sparkline.js ソフトウェア (Copyright (c) 2007-2009, Adolfo Marinucci All rights reserved) が含まれています。

